

# 弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター WEB講習会

受講期間：2020年8月31日（月）～9月18日（金）

弾性ストッキングは静脈疾患・リンパ管疾患の治療・予防に必須で、日常診療に広く応用されていますが、正しく使わないと、その目的を達せず、合併症もおこります。また、患者さんから「硬くてはきにくい」「すぐにずり落ちてくる」などの苦情も少なくなく、はけないままになってしまう患者さんも多数おられます。また平成17年4月には弾性ストッキングが医療器具として認定されより正しい知識が必要とされています。さらに、平成20年4月からはリンパ浮腫に対する弾性ストッキング使用が保険適応になりました。2020年4月から慢性静脈不全に対する静脈圧迫処置が保険適応になりました。その算定を得るためには、医師および看護師が本資格の研修を修了しなければなりません。当講習会の役割はさらに高まりつつあります。

講習会の柱は、「静脈疾患・リンパ管疾患についての理解」と「弾性ストッキングの使用法」の二つです。前半は静脈疾患・リンパ管疾患、静脈血栓症の予防についての講義、後半は弾性ストッキングについての講義と弾性ストッキングの取り扱いのための実技指導です。静脈性潰瘍の講義、実習も含まれます。資格認定は医師、看護師、准看護師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、診療放射線技師、臨床工学技士（平成22年7月より）、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師（平成26年4月より）、薬剤師（平成29年6月より）の資格を持つ方を対象としています。

受講後、一定の臨床指導経験を積んだ後、資格を申請することができます。申請可能期間は受講後2年以内です。また、資格認定期間は5年です。ぜひ資格を取得していただき臨床に役立ててください。

## ★ご注意ください★

今回の講習会では、＜弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWeb講習会＞＜静脈圧迫処置追加講習会＞のどちらかを選択してお申込みください。

弾性ストッキング・コンダクター認定者（有効期限内）  
あるいは2018年1月以降に弾性ストッキング・コンダクター講習会を受講したがまだ認定されていない方  
＜弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWeb講習会＞  
上記に当てはまらない方

認定制度については下記をご覧ください。

- ・ [認定制度（日本静脈学会WEBサイト）](#)
- ・ [静脈性潰瘍の保険算定に関する重要なお知らせ](#)

※旧 弾性ストッキング・コンダクターの更新のみをご希望の方（施設認定が必要ない方）は講習会を受講せず、認定有効期限までに30名の臨床指導内容書で更新申請が出来ます。

## 開催概要

◆受講期間  
2020年8月31日（月）15:00～9月18日（金）24:00

教科書お持ちでない方へは受講開始前にお送り致します。

◆定員  
500名

「新 弾性ストッキング・コンダクター第2版」  
（へるす出版、2019年1月発行）



◆対象者  
医師、看護師、准看護師、臨床検査技師、  
理学療法士、診療放射線技師、作業療法士、臨床工学技士、  
あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師、薬剤師

本講習会参加で下記単位を取得できます。  
講習会終了後に発行されます受講証明書にて単位申請してください。  
（資格取得ができるのは＜弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWeb講習会＞受講者のみです。）

◆参加費  
＜弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWeb講習会＞  
教科書をお持ちでない方 15,000円  
教科書を既にお持ちの方 12,000円  
＜静脈圧迫処置追加講習会＞  
教科書をお持ちでない方 9,000円  
教科書を既にお持ちの方 6,000円

- ・ リンパ浮腫療法士 更新3単位（リンパ浮腫療法士認定機構）
- ・ 血管診療技師（CVT）更新4単位（血管診療技師認定機構）

※本講習会参加者は5,000円の追加で第40回の日本静脈学会に参加ができます。本講習会お申込みの際に参加希望をご選択ください。

◆講習会会長  
山本 浩史（秋田大学 心臓血管外教授 第40回日本静脈学会会長）

＜受付中＞ 受講お申込み

◆協力養成委員

## 弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWEB講習会

[トップページ](#)[プログラム](#)[お申込み](#)[リンク](#)

## 受講の際の注意事項

## プログラム

## 受講の際の注意事項 (参加者の方はよく読んでおいて下さい)

- 本講習会では、WEB配信にて講座動画をご視聴いただけます。動画は5時間ほどを予定しています。セッションごとに視聴可能ですので、ご都合に合わせて受講期間内にご受講ください。
- 受講時の服装について：実技実習セッションでは実際に弾性ストッキングを履いていただきます。大腿までストッキングが履けるようなゆるいスラックスや短いズボンあるいはスカートなどの服装で実習して下さい。また、日常履かれているストッキングは着用しないで下さい。
- 講義を視聴後、試験となります。解答を送信して講習終了となります。  
**<弾性ストッキング・圧迫療法コンダクターWeb講習会>** 受講の方は全てのプログラムを受講して下さい。  
**<静脈圧迫処置追加講習会>** 受講の方は赤字で表示されているプログラムは必ず受講して下さい。その他のプログラムは復習としてご視聴ください。
- 当講習会のシステムは、サービスの安定運用に万全を尽くしておりますが、お客さまの環境や回線状況により、再ログインが必要になることや、画面がフリーズし、ご視聴いただけない場合もございます。予めご了承ください。
- 講座動画、試験問題の録画、録音、撮影、および資料の2次利用、詳細内容のSNSへの投稿は固くお断りいたします。これらセミナー内容の登用が発覚次第、著作権・肖像権侵害として対処させていただきます。

## プログラム

## 開会の辞

佐久田 斉 (AOI国際病院血管外科)

## 認定制度について

佐久田 斉 (AOI国際病院血管外科)

## 弾性ストッキングを使用する脈管疾患に関する講義

下肢静脈瘤	今井 崇裕 (西の京病院血管外科)
深部静脈血栓症の予防と治療	山田 典一 (桑名医療センター 循環器内科)
リンパ浮腫	小川 佳宏 (リムズ徳島クリニック)

## 圧迫療法に関する専門講義

弾性着衣の基礎と臨床	松原 忍 (横浜市立大学 形成外科)
MDRPUについて	野口 まどか (神戸大学 看護部)
災害時の弾性ストッキング	星野 祐二 (福岡山王病院 血管外科)
静脈性潰瘍に対する圧迫療法 (静脈圧迫処置の保険について)	孟 真 (横浜南共済病院 心臓血管外科)

## 実技講習

実技講習 (弾性ストッキング)	松原 忍 (横浜市立大学 形成外科)
実技講習 (弾性包帯)	孟 真 (横浜南共済病院 心臓血管外科)

## 資格取得法と開会の辞

八杉 巧 (愛媛大学 心臓血管外科)

## 申込についての問い合わせ

弾性ストッキング・コンダクター講習会事務局代行  
 〒194-0022 東京都町田市森野1-31-8-2  
 アスリード株式会社  
 sccc@us-lead.com

## 講習内容の問い合わせ

横浜南共済病院 心臓血管外科 黒木  
 〒236-0037  
 横浜市金沢区六浦東1-21-1  
 jsp.secretary@gmail.com

[トップページ](#)[プログラム](#)[お申込み](#)[リンク](#)

ク